

令和7年度地域医療介護総合確保基金(医療分)の提案事業 査定結果

＜新規事業＞

(単位:千円)						
No.	提案団体名	事業名	事業概要	要望金額	予算措置	査定結果
新規1	神戸市医師会	「在宅医療(特に医療的ケア児(者))に関わるライフステージを通じた支援体制の確立」	①医療的ケア児支援体制確立に関する会議体の設置 ②以降の事業を進める中で、有識者による会議を定期的に開催。 ②アンケートの実施 学校医・園医含む市医師会員に向け、ニーズ、要望・供給体制等の現状把握のため実施。アンケートを通して、今後の医療的ケア児対応に関心のある医師も併せて確認。 ③医療的ケア児(者)に関わる医師数の増幅 (カンファレンス参加事業) ②で関心を寄せた医師に対して、こども病院・神大病院で実施するカンファレンスへの参加を設定。平時における医療的ケア児(者)と関わる各地域の医師数を増やしていく。 ④多職種の人材育成・支援体制の輪の強化 研修会・講演会を通じ、 ・医療的ケア児(者)に関わる多職種の人材育成 ・保護者も含めた、支援体制の輪の強化・拡大を図る。 ⑤情報共有の仕組みの確立 会議体において、支援体制の輪の中で、より効果的な情報共有の仕組み(手段・内容・共有する相手)について検討していく。 ⑥施設・医療機関への看護師加配 将来的には、重症心身障害児者施設・医療機関への看護師加配を検討。保護者が簡易にショートステイを活用できるように支援体制を強化していく。	2,379	×	0
新規2	垂水区医師会	地域包括ケアにおける薬物療法を支える医療職の実践のための研修	(内容) ①連絡会において薬物療法の現状と課題を抽出し、研修を企画する。 ②地域包括ケアにおいて薬物療法を受ける患者の支援の実践について研修会を開催する(例) ●訪問薬剤指導管理の実践 ●ポリファーマシーケースの調整の実践 ●高度医療急性期病院で専門的医療(例:がん化学療法)を受けながら、循環器疾患を地域でかかりつけ医が診ている事例の連携の実践	854	△	0
新規3	垂水区医師会	在宅医療での神経難病の患者の対応についての多職種連携に関する講演会の実施	神経難病に対し豊富な経験や知見を有する医師や看護師などの講師を招き、講演会やシンポジウムを開催する。神経難病に対する基礎知識から現在広く行われている治療法の実践までを学ぶ。また在宅における神経難病の方々に対する看護や介護の実践を学び在宅医療での神経難病の方々を地域で支える。	800	×	0
新規4	垂水区医師会	在宅医療での嚥下障害の患者の対応についての多職種連携に関する研修会の実施	医療機関において、有資格者(特にリハビリテーション医や管理栄養士や言語聴覚士)の下で行われる嚥下機能障害者のサービスが、施設や在宅、居宅では同様のサービスの継続が困難な場合があり、内容が大きく変わってしまう事が多い。嚥下機能障害に対し、居宅においても医療機関と同様のサービスが継続できるようにするため、管理栄養士・言語聴覚士等から、居宅において実践が可能な栄養学的知識や嚥下訓練によるリハビリの実践について研修会を通じ学ぶ。また、在宅医療へシームレスに移行できるよう協議会を通して多職種間で情報共有を行い食事・嚥下に関する啓発を行い食事の質を高める方策を検討する。	1,075	△	0
新規5	北区医師会	ACPI対応に向けて多職種連携支援事業	ACPIに関して、市民啓発が進んでいないことと、介護事業者においてもACPIに関する基礎的な知識、多職種チームによる意思決定支援についての理解が進んでいない。そのため、まずは訪問看護師、介護支援専門員等による多職種チームによる意思決定支援の向上を目指し、併せて効果的な市民啓発につなげる。	1,400	△	0
新規事業計				6,508		0

予算措置(凡例)	
○	提案内容に対し、直接予算措置
△	提案内容が活用できる別事業で予算措置
×	予算措置なし

＜継続事業＞は裏面

＜継続事業＞

(単位:千円)

No.	提案団体名	事業名	事業概要	要望金額	予算措置	査定結果	対応等
継続 1	神戸市 歯科医師会	神戸圏域における多職種連携の強化、地域包括ケアシステム拡充のための取り組みとしての小児在宅歯科医療の推進	神戸市歯科医師会の医療的ケア児在宅訪問診療で訪問診療による口腔機能管理を行い、口腔機能の悪化を防止し良好な成長発育を促す。加えて後方支援体制としての神戸市立こへ市歯科センターや市民病院機構と連携可能な体制を整備する。	1,660	○	1,090	神戸市歯科医師会に予算措置する「R7年度在宅歯科医療推進事業」にて対応されたい (R7年度予算額:1,090千円) ＜医務課企画調整班＞
継続 2	東灘区医師会	「東灘区在宅NST推進研究会」の推進と活用	・多職種(医師、歯科医師、薬剤師、訪問看護師、ケアマネジャー、施設・病院の管理栄養士、病院・在宅の言語聴覚士、歯科衛生士、社会福祉士等)により、食に関する課題抽出と対応策の検討、実施を行う。 ・プロジェクトで作成した「東灘区食支援連携ツール」は、令和6年度に神戸市内の基幹病院や協力いただける他区の施設・病院、芦屋市にもご協力いただき、「食形態マップ」は、より多くの情報提供ができるようになっている。令和7年度は、このツールを普及啓発することで、病院・施設～在宅(自宅)への食の情報共有ツール「食支援サマリー」が神戸市全体で利用してもらえるように取り組んでいく。	1,103	△	0	県医師会に予算措置する「R7年度在宅医療充実強化推進事業」にて対応されたい。 (R7年度予算額:1,600千円/郡市区医師会) ＜医務課企画調整班＞
継続 3	東灘区 歯科医師会	在宅療養者の口腔管理・栄養管理を要する在宅歯科医療推進事業	口腔機能管理と口腔機能に応じた食支援・栄養指導のできる人材育成を目的とした研修会を行う。	340	△	0	県歯科医師会に予算措置する「R7年度在宅歯科医療推進事業」にて対応されたい (R7年度予算額:29,275千円) ＜医務課企画調整班＞
継続 4	東灘区 歯科医師会	在宅療養者に対する嚥下機能評価と口腔機能管理のできる人材育成事業	食支援につながる嚥下機能の評価と口腔機能管理に関する知識を得るための研修会を歯科医師・歯科衛生士に対して行う。	340	△	0	県歯科医師会に予算措置する「R7年度在宅歯科医療推進事業」にて対応されたい (R7年度予算額:29,275千円) ＜医務課企画調整班＞
継続 5	東灘区 歯科医師会	在宅療養者に対し低栄養予防の管理指導を行える人材の育成事業	栄養士や言語聴覚士を講師に迎え、歯科医師・歯科衛生士を対象とした栄養指導や嚥下リハビリに関する研修会を開催する。	360	△	0	県歯科医師会に予算措置する「R7年度在宅歯科医療推進事業」にて対応されたい (R7年度予算額:29,275千円) ＜医務課企画調整班＞
継続 6	東灘区 歯科医師会	特定疾病を有する在宅療養者に対し歯科診療・口腔機能管理を行える人材育成	特定疾病を有する在宅療養者に関する知識を外部講師(医療職・介護職の方)から学ための研修会を歯科医師・歯科衛生士に対して行う。	360	△	0	県歯科医師会に予算措置する「R7年度在宅歯科医療推進事業」にて対応されたい (R7年度予算額:29,275千円) ＜医務課企画調整班＞
継続 7	東灘区 歯科医師会	在宅療養者への嚥下機能評価と口腔機能管理のできる人材育成	食支援につながる嚥下機能の評価と口腔機能管理を行う際に必要な知識を得るための研修会を実施する。	270	△	0	県歯科医師会に予算措置する「R7年度在宅歯科医療推進事業」にて対応されたい (R7年度予算額:29,275千円) ＜医務課企画調整班＞
継続事業計				4,433		1,090	
合計				10,941		1,090	

予算措置(凡例)

○	提案内容に対し、直接予算措置
△	提案内容が活用できる別事業で予算措置
×	予算措置なし